

# 駅ホーム

フォト劇場 (52)

写真が生まれるのがたり

麦のごと育てと初の散髪の産毛のわづかを駅に撒  
きし日  
千葉クミ

多くの人に踏んでもらうと丈夫に育つと聞き  
試みたが、今思うと公共施設を汚す犯罪で  
は？と少し怖い。みどり子だった息子は二十  
二歳で逝ってしまったが、彼の魂と共に生き  
ると決めた。さあ、出発だ。

無機質なドアが並んだ停車場に高倉健が立つこと  
はない  
宮 梓一

コスモス事務室の最寄駅・三鷹台にもついに  
ホームドアが設置されました。その存在に安  
心感を抱きつつ、きつとこうしたホームには  
高倉健が演じた鉄道員が立つような叙情はな  
いので、と寂しく思います。



写真・木畑紀子

一浪の君を待ちぬし<sup>ゼロ</sup>番線青春なんて意識もせず  
に  
三木裕子

かつてJR名古屋駅には0番線があった。東京方面行きの快速用のホームだ。花崗岩の階段を、手を振りながら駆け上がった。来る彼を待つ事がいつもだった。お互いの気持ちに気づいていたが付き合う事はなかった。

救はれし命はいくつアドマンがホームドアにて自  
死あきらめる  
池田 毅

思うように売り上げが伸びず、後輩に罵倒される日々。時代についてゆけない。俺は終わった。会社の帰り、駅から飛び降りようと思った。ホームドアが目に入り、やめた。生きるも死ぬも面倒臭いものだ。